

| | | | | | |
|--------|--------------------------------------|-----|-----|---------|--------|
| 教科（科目） | 地理歴史（地理総合） | 単位数 | 2単位 | 学年（コース） | 2年次 履修 |
| 使用教科書 | 『わたしたちの地理総合』（二宮書店） 『詳解現代地図』（二宮書店） | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | |

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

| | |
|----------------|--|
| グラデュエーション・ポリシー | <p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①自他を大切にできる豊かな心やコミュニケーション能力を育成します。 ②勤労観を身に付け、自立し、地域社会に貢献できる人材を育成します。 ③社会の変化に適応できる人間性と幅広い学びにチャレンジする精神を育成します。</p> |
| カリキュラム・ポリシー | <p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>①少人数制授業や授業における学びのユニバーサルデザイン化を図るとともに、ICT等を活用しながら基礎・基本の学びを展開し、個に応じた指導を行います。 ②二人担任制や充実した教育相談体制により、社会への適応力や規範意識醸成のために生徒に寄り添った生徒指導を実践します。 ③自他を尊重し、よりよい人間関係を築くことで協働的に学び合う学習に取り組みます。 ④地域と連携したキャリア教育を充実させるとともに、個別最適な学びにより、生徒一人一人の進路指導を行います。</p> |

2 学習目標

| |
|--|
| <p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。</p> |
|--|

3 指導の重点

| |
|--|
| <p>① 持続可能な社会づくりに貢献できるよう、地理的環境と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察する力を身につける。</p> <p>② グローバルな視野から国際理解や国際協力の在り方について、公民として必要な資質・能力を育成するとともに、討論を通じて理解を深める。</p> <p>③ 地理情報システム（GIS）などを活用して、防災について生活圏で避難行動がとれることを目指す。</p> |
|--|

4 評価の観点の趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| <p>知識：地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解している。</p> <p>技能：地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。</p> | <p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身につけている。</p> | <p>地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身につけているとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深めている。</p> |

5 評価方法

| | 知識・技能 a | 思考・判断・表現 b | 主体的に学習に取り組む態度 c |
|------|--|--|---|
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査や小テストの分析 ワークシート、作業プリントなど提出物の内容の確認などから評価します。 | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査や小テストの分析 ワークシート、作業プリントなど提出物の内容の確認などから評価します。 | <ul style="list-style-type: none"> 授業への参加態度などを観察 ワークシート、作業プリントなどの提出状況 小テストや振り返りプリントの分析などから評価します。 |

6 学習計画

| 月 | 単元名 | 学習活動（指導内容） | 時間 | 評価の観点 | 評価方法 |
|---|-----------------------------|---|----|-------|----------------|
| 4 | 球面上での生活 国家の領域と領土問題 | ①球体としての地球，時差と生活，おもな図法による世界地図，地図の表現を理解する。 ②球面上の正しい方位や時差，図法によって異なる世界地図の特色を理解し，以降の学習の基盤を築くとともに，日常生活で活用する力を身につける。 ①国家の3要素や国境のなりたち，領域における海洋の役割，日本と周辺諸国との間の領有権問題について理解する。 ②国境や領土問題が国際関係，人々の生活におよぼす影響を考察する。 | 5 | | |
| 5 | 国内や国家間の結びつき 日常生活のさまざまな地図 | ①外国で暮らす日本人を題材として，日本と諸外国との関係を理解する。 ②国家間の結びつきを地域経済圏や国際連合を通して考察する。 ③観光，交通・通信，貿易・物流の視点から，人や物・資本・サービス，情報の国際的な移動のようすを理解する。 ④さまざまな統計地図や統計資料を分析し，表現する地理的技術を養う。 ①身の回りにある地図を題材にして，地図を用いた情報伝達の方法を習得する。 ②地理情報の電子化について学習し，紙の地形図と電子地形図の違いや用途を理解し，活用する。 ③地球儀ソフトや地理院地図などのGISソフトウェアを利用して地理空間情報を扱い，表現する技能を養う。 | 6 | abc | 小テスト・プリント等の提出物 |
| 6 | 自然環境と生活文化 | ①世界的な視野から地球上の起伏の分布がプレートテクトニクスにもとづくプレート境界と関連していることを捉える。 ②また，河川がつくる地形や海岸部の地形，それらの地形を活かした暮らしの特徴を学習し，写真や地形図によって具体的に読み取り，考察する技能を身につける。 ③世界的な視野から大気が循環する仕組みを捉え，日射のほか地形分布や海流などからも影響を受けて気候の地域性が生まれることを理解する。 ④世界の各気候帯の自然環境の特色，人々の暮らしと工夫について，写真や雨温図，分布図などの資料から考察する。 | 7 | | |
| | 前期中間考査 | | 1 | ab | 定期考査 |
| 7 | 産業の発展と生活文化 | ①世界の農業・工業・第3次産業の特徴と生活文化との関連性を捉え，その地理的環境や歴史的背景を理解する。 ②アジア各地の事例地域の学習を通して，経済活動の国内・国際的な発展と，グローバル化による生活文化の変容を動的に捉え，主題図や写真などの資料を通して考察する。 | 7 | abc | 小テスト・プリント等の提出物 |

| | | | | | |
|----|----------------|--|---|-----|----------------|
| 9 | 言語・宗教と生活文化 | ①世界の言語・宗教の特徴と分布，生活文化との関係を考え，その地理的環境や歴史的背景から地域的特色を理解する。 ②現代社会における言語・宗教の変容を動的に捉え，主題図や写真などの資料から考察する。 ③世界の少数民族や少数言語，宗教対立，移民・難民などの現代社会の諸課題を理解し，互いに多様な文化を尊重する多文化共生社会の実現方法について議論し，考察する。 | 8 | | |
| | 前期期末考査 | | 1 | ab | 定期考査 |
| 10 | グローバル化の進展と生活文化 | ①EUの統合による産業や生活文化への影響，そして統合によって生じている経済格差や移民問題などの諸課題を理解し，ヨーロッパ各国の国家としての在り方の変容，EUと日本のつながりについて考察する。 ②アメリカ合衆国建国時から多様性を育んできた地理的環境・歴史的背景を理解し，グローバル社会で世界をリードする産業の発展と企業の国際化の過程を捉え，アメリカ合衆国の変容，日本とのつながりについて考察する。 | 7 | | |
| 11 | 人口・食料問題 | ①世界人口の急増によって生じる問題を世界的視野から理解し，人口ピラミッドや主題図などの資料から問題の所在と解決のための取り組みを考察する。 ②人口急増国だけでなく人口停滞国の事例を通して，各国の人口政策や諸問題について比較し，理解を深める。 ③持続可能な発展のために，飢餓や飢饉などの食料問題と人口問題を関連させて理解する。その際，モノカルチャー経済や気候変動などの背景的要因も捉えながら，グローバル・ローカルな視点から解決方法を構想する。 | 6 | abc | 小テスト・プリント等の提出物 |
| | 後期中間考査 | | 1 | a b | 定期考査 |
| 12 | 居住・都市問題 | ①都市に人口が集中する要因を主題図や統計資料から読み取るとともに，人口集中によって引き起こされる都市問題についても写真などから判読する。 ②途上国と先進国では異なる都市問題が発生していることを理解し，その構造的要因を考察する。 ③都市問題を解決するための都市政策や科学技術の事例に触れながら，解決の方策を構想する。 | 7 | | |
| | 資源・エネルギー問題 | ①エネルギー資源の変化を世界的な視野から概観し，主題図や統計資料をもとに資源の偏在性，有限性，そして消費における地域格差などの諸課題を読み取る。 ②エネルギー資源の持続可能な利活用と安定供給を実現するために，化石燃料や再生可能エネルギーのメリットやデメリットを比較し，国際協力の必要性，日本とのつながりについて考察する。 | | abc | 小テスト・プリント等の提出物 |
| 1 | 地球環境問題 | ①地球温暖化・熱帯林減少・砂漠化など，地球規模で起こっている環境問題の仕組みを構造的に理解する。 ②地球環境を守り持続可能な発展を実現するためには，国際的な協力体制が必要なだけでなく，その背後にある政治・経済的な課題解決も求められることを考察する。 ③環境問題と自分自身とのつながりを意識し，SDGsの因果関係も捉えながら具体的な取り組みを構想する。 | 8 | | |
| | 自然環境と防災 | ①日本列島の地形や気候のなりたちと多様性について，主題図やグラフ，写真などの資料から理解する。 ②日本列島では自然による恩恵だけでなく，風水害，火山，地震・津波，都市型災害などが発生することを世界的な視野から捉え，その要因と特徴，災害の地域性，防災や減災への取り組みや課題を考察する。 ③新旧地形図やハザードマップなどを活用し，自らの生活圏の防災について考察し，表現する技能を身につける。 | | | |

| | | | | | |
|-------------|------------|---|---|-----|------|
| 2 ～ 3 | 持続可能な地域づくり | ①生活圏の課題を解決するための手法としての地域調査を実施し、身近な地域の魅力やかかえている課題を見だし、調査を踏まえてその解決策を考察する。 ②地域調査の一連の手順を理解し、景観観察やアンケート・聞き取り調査など、さまざまな調査方法を活用する。 ③調査結果や統計ツール、新旧地形図やデジタル地図、各種資料などによって得られた情報を多角的な視点から主題図やグラフにまとめ、将来に向けた地域のあり方を構想する。 | 5 | | |
| | 後期期末考査 | | 1 | a b | 定期考査 |

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・授業で配布される書き込みプリントは提出してもらい、取り組み状況を確認します。
- ・小テストの確認問題に取り組んでもらいます。理解の確認をします。
- ・単元の終わりに振り返りを行い、学んだことをまとめ（記述）ます。
- ・授業の取り組み状況や提出状況などすべての取り組みを評価します。

8 担当者からの一言

地理を学ぶことで広い視野を持ち、グローバル化する国際社会を多面的・多角的に考えることが出来るように学びを深めていきましょう。日本国民として、我が国の国土に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めていきましょう。